

成果報告書

- 1、主題「第3回 国連防災世界会議」
- 2、主催：国際連合
- 3、会場：エル・パーク仙台（他数か所で）
- 4、日時：平成27年3月14日～18日
- 5、参加者：1000人以上
- 6、内容

(1) エル・パーク仙台は「パブリックフォーラムテーマ館 女性と防災」について。

まず受付で、ネームカードをチェックされて会場に向かった。ボランティアの仙台の方々が至る所に配置されていた。

展示室は東日本大震災についての各県の展示で、福島県は男女共生センターが中心になって作成し、その説明を担当しました。山形からの学生や一般人に、そして、外国の方々にも福島県の現状について説明しました。

(2) トーク×トーク女性たちのリーダーシップ

いろいろな事例を発表された。被災後の食の支援に一役買った女性たち、てづくりなどを通して、精神的な安心感を作ったグループ、震災後に着物再利用で商品化し、一般社団法人となった女性たちなどの事例であった。

(3) 女性たちが語る3.11～これまでと今と

各地の震災経験者が語る。特に福島は一括りにできないということ。子供を亡くした親の喪失感、不安を抱えた子育て、高齢者が動けなくなりその後、死亡してしまったことへの介護の在り方、風評被害により、農産物をはじめ、観光業にまで影響を及ぼす悪循環、そして、各自の生き方のきびしい選択など、まだまだ問題が山積していると感じた。

7、感想

参加者が多く、満席状況の中で希望のシンポジウムに参加できた。

復興に向かって、女性たちが、新しい切り口で男女共同参画社会を作り始めていると感じた。災害に強い町とは、「情報の共有」「助け合い」「判断力」など、さらに女性が活躍する組織の強さ、復興における企業の取り組みなど、多くの情報を得ることができた。これを地元を持ち帰り、役立てたい。

第3回 国連防災会議への参加事業

収支決算書

収入の部 (円)

項目	決算額	備考
自己負担金	8,580	
会津若松市補助金	3,300	
合計	11,880	

支出の部

(円)

項目	決算額	備考
乗車料金 (乗車券)	6,700	新幹線往復
(特急券)	5,180	会津若松・仙台往復
	11,880	